

タグを取ったら 大きな声で

教材コンセプトシート

●主な対象

小学校3～4年

●ねらい

気持ちよくゲームを行うためにルールがあることに気づき、互いに尊重し合い、相手に伝わるコミュニケーションを取ろうとする態度を養う。

●取り扱うテーマ・キーワード

勇気、助け合い、礼儀、コミュニケーション、規則の尊重

教材活用ガイド

●いつ

- ・年度のはじめ
- ・学級開きや班編成直後など

●指導・活動時間の目安

- ・特別活動・学級活動などで1時間など

●関連

体育…規則を守り誰とでも仲よく運動をする

道徳…「希望と勇気、努力と強い意志」「礼儀」「友情、信頼」「相互理解、寛容」「規則の尊重」

特別活動…学級や学校における生活づくりへの参画

●工夫・協力

体育のゴール型ゲームの授業と関連させて取り扱う など

学習活動

教材内容と指導上の留意点

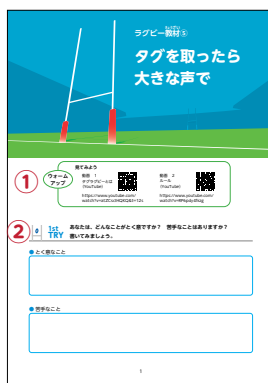
※赤丸数字は縮小紙面と対応

【ウォームアップ】(5分)

タグラグビーの様子やルールについての動画を視聴し、興味・関心を高める。

●活動1 (5分)

【1st TRY】自分の得意なことと苦手なことを伝え合う。



①日本ラグビーフットボール協会の「タグラグビーオフィシャルウェブサイト」で公開している。ホワイトリスト方式の場合は、事前に閲覧できるように準備しておくといよい。

・「1タグラグビーとは」と「2ルール(00:00～03:00)」を視聴して、タグを取り合いながら行うゲームであることを確認する。

②ラグビーもポジションごとに得意なこと、苦手なことがあり、仲間同士で得意・不得意を補い合っていることを伝えらる。

●活動2 (10分)

【2nd TRY】『タグを取ったら大きな声で』の物語を読む。

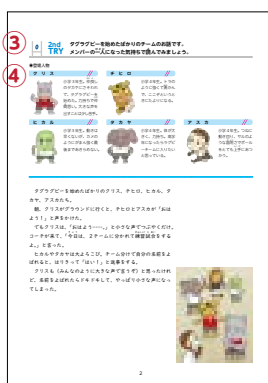
●活動3 (15分)

【3rd TRY】物語を読んだことを踏まえて、考えたり話し合ったりする。

①「チヒロの気持ちになって」「タグ!」と大きな声で言えないクリスにどんな言葉をかけるか。(A)

②試合が終わった後、クリスはヒカルに何と言ったと思うか。(B)

③「ヒカルの気持ちになって」②で考えた言葉を聞いて、クリスに何と答えるか。



③導入で見たタグラグビーのルールを思い出しながら読むといよい。

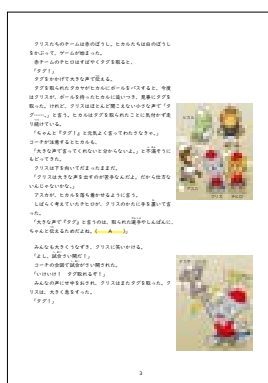
④読み終わった後、登場人物紹介を用いながら簡単に物語の内容を確認する。
・文中の(A)(B)は、次の活動で取り扱う。

⑤苦手なことに向き合う困難さや、それを乗り越えるために必要な心を考える。

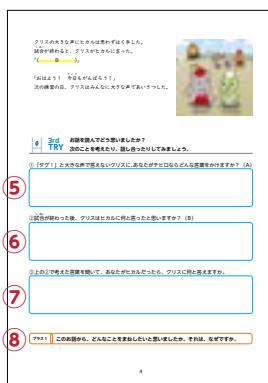
⑥クリスが2度目にタグを取ったとき、なぜ大きな声を出せたのかを考える。

⑦自分が苦手なことに向き合ったとき、どんな言葉をかけられるとうれしいかを考える。

・児童に登場人物を演じさせてもよい。



【プラス1】これまでの自分を振り返ると共に、学習を通して、これからの自分に生かしたいことを考える。



⑧クリスだけでなく、ほかの登場人物の言動から真似したいことを考えてもよい。